

2 事後評価地区別資料

農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業）

さかいがわうがん
（坂井川右岸地区）：新潟県

（2）事業概要、現地調査結果等

令和3年度
農業競争力強化基盤整備事業
(農地整備事業)

坂井川右岸地区(新潟県)

農業競争力強化基盤整備事業 農地整備事業(経営体育成型)の概要

◆事業の目的

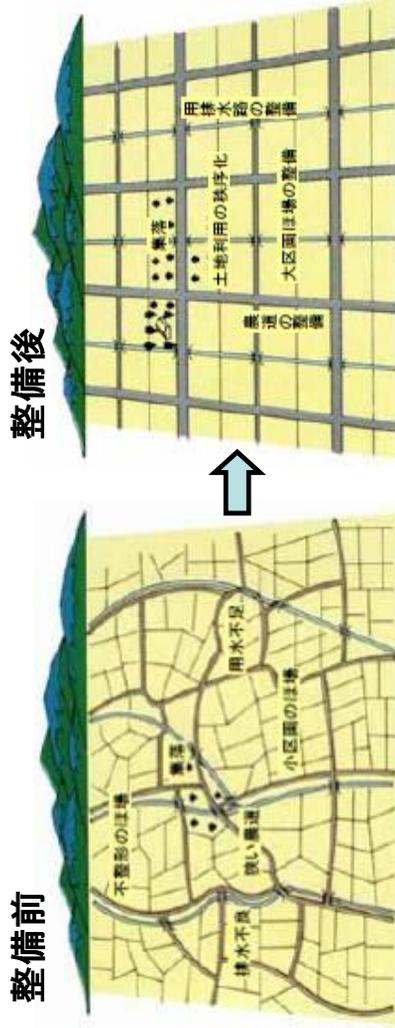
ほ場の大区画化、農道の整備、用排水施設等の生産基盤の整備を総合的に実施することにより、農業生産性の向上を図るとともに、担い手への農地の利用集積を促進し、地域の農業構造の改善を図ることを目的としている。

事業内容

- 区画整理
- 農業用排水施設
- 暗渠排水
- 客土
- 農道

この内2つ以上の事業を実施
(区画整理、暗渠排水は単独でも可)

整備のイメージ



区画整理のイメージ

区画整理実施 前後の比較

農業競争力強化基盤整備事業「坂井川右岸地区」事業概要

事業の目的

本地区は、新潟県の北東部に位置し、二級河川坂井川の右岸の農業地帯で水稻中心の営農に取り組んでいる。

地区内は昭和20年代に基盤整備が行われたが、区画は10a程度と小さく、農道幅員も狭いことから、農作業の効率化が図られない状況にある。また、暗渠排水が未整備であることから水の汎用化に支障を来している。

このため、区画整理を行い農作業の効率化を図ることにより、生産性の高い優良農地の確保を図り、また、農地の汎用化のため暗渠排水の整備を行い、単収向上等による生産拡大を実現させ、本地区全体としての農業競争力の強化を図るものである。

事業の概要

受益面積 268ha

総事業費 4,391百万円

主要工事 区画整理工 A=268ha

暗渠排水工 A=264ha

工期 平成9年度～平成27年度

計画変更 第1回 平成23年3月 9日

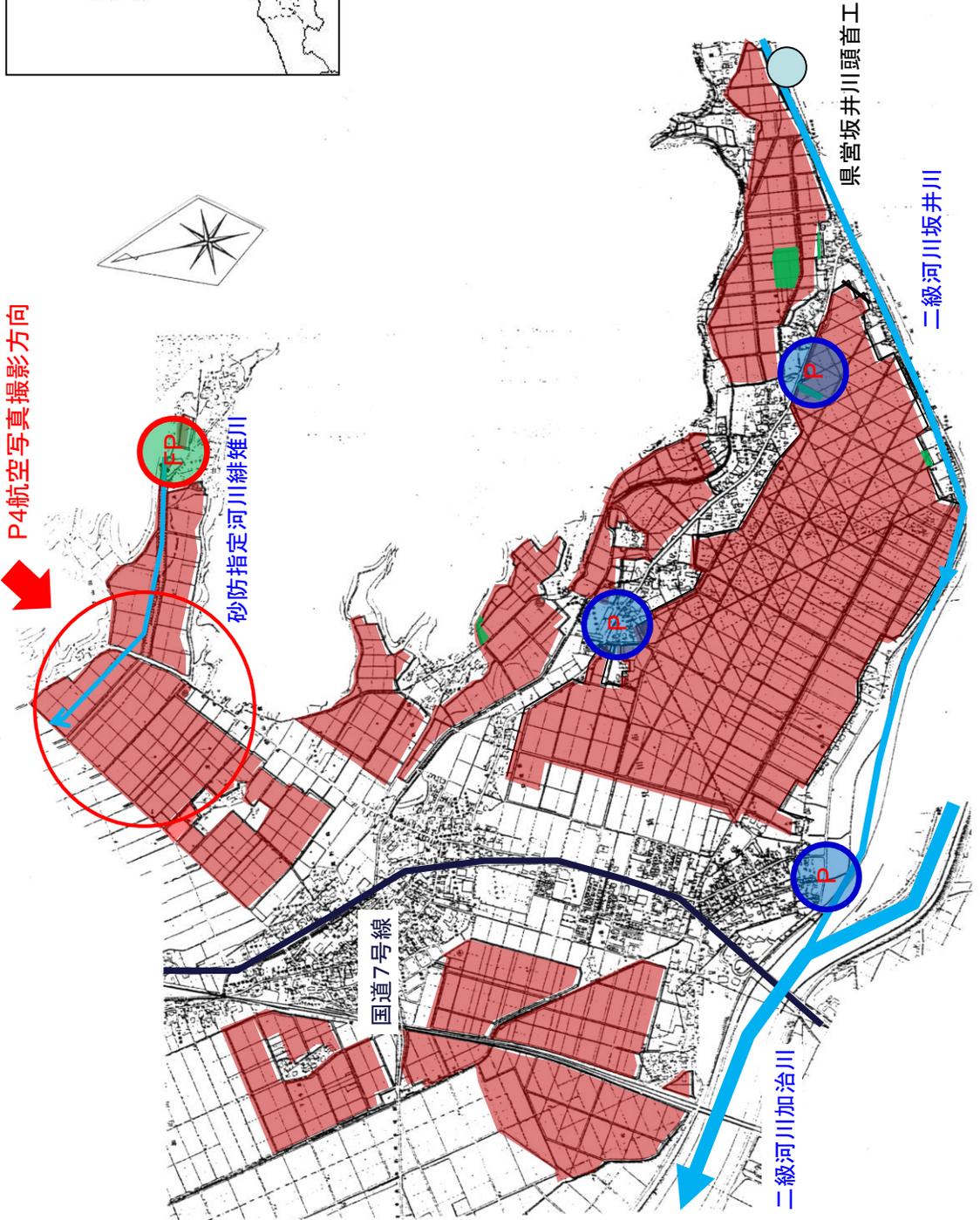
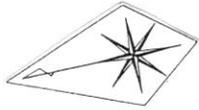
第2回 平成27年4月27日



区画整理後

図面平面計画図

P4航空写真撮影方向



凡例

田	
畑	

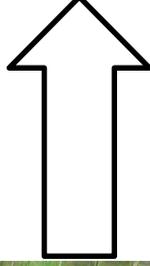
区画整理状況（大区画化）

【実施前】



約10aの小区画
約3,000枚

小区画から
大区画へ

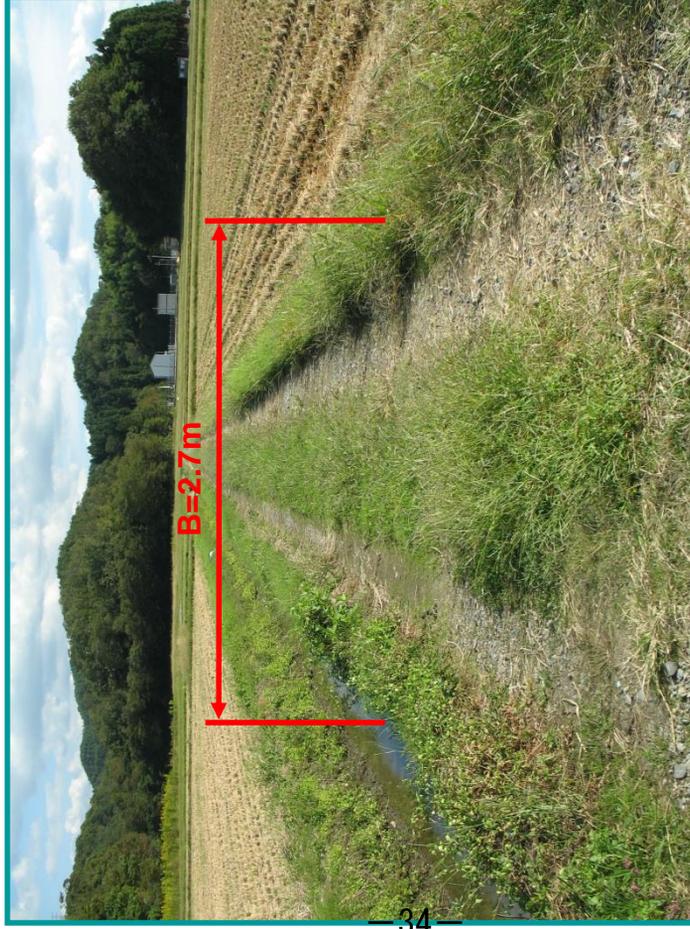


【実施後】



最大1.2haの大区画
約400枚

道路整備状況（安全でスムーズな走行）

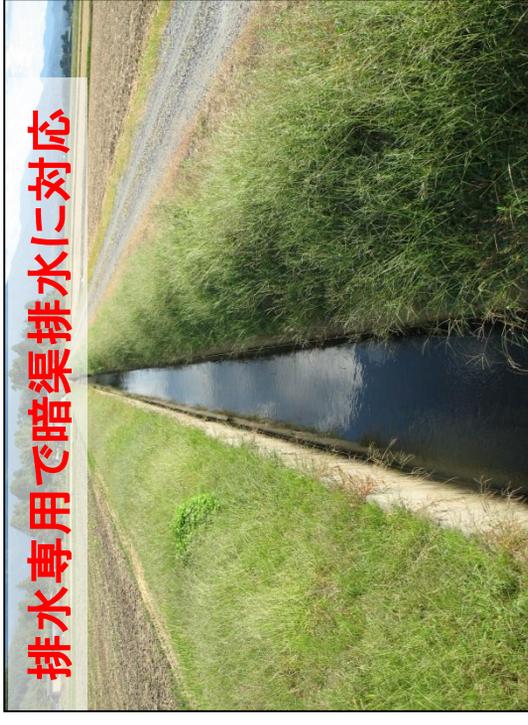


整備前 2.7m農道



整備後 6.0m農道

用排水路整備状況（用水の効率化、迅速な排水）



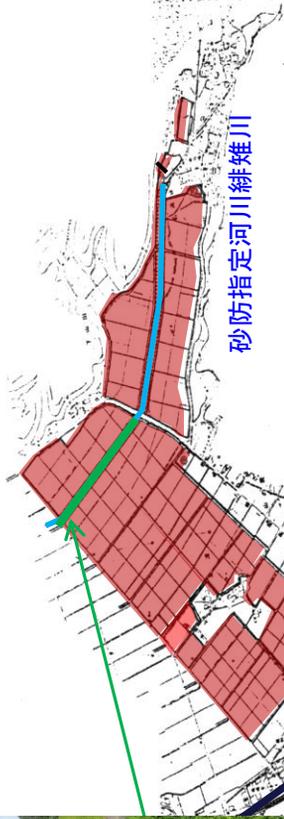
(坂井川右岸地区)

環境への配慮

- ・現況水路の一部を利用し生物の生息環境に配慮した整備を実施
- ・地区内水路でホタルやオニヤンマなどの生息を確認



排水路の一部を利用した土水路



砂防指定河川 緋雉川



排水路での生き物調査



二級河川坂井川

地区内生産法人1 ～有限公司 アグリ・システム～

- ・経営内容... 水稲80ha、野菜(ブロッコリー、たまねぎ等)2ha、おむすび屋
- ・作付面積の変化... 事業実施前 8ha(H8) → 事業実施後 82ha(R2)
- ・ポイント... 農地整備により営農労力が大きく減少し経営規模拡大
整備済みほ場で効率的な水稲栽培、地区隣接農地で野菜栽培
米のブランド化、6次産業化にも取り組み



齋藤さん



大区画化、パイプライン化、暗渠排水が整備されたほ場



源平の合戦で手柄を上げた佐々木三郎盛綱は、現在の新潟田市にお城を築き、約400年栄え、お城の麓の田んぼでとれたお米を”越後菅谷殿様米”として、1俵6万円で購入。グローバルGAP(2017年11月)にも取り組み。

米のブランド化(越後菅谷殿様米)



新潟県新発田市

おいしいおむすびを食べてもらい、お米を購入してほしいという思いからおむすび屋を開業。
女性従業員1名が切り盛りし、今後も継続して取り組んでいく。

6次産業化(おむすび屋)で、

お米の美味しさをPR

聞き取り調査内容

有限会社 アグリ・システム(斉藤さん61歳)
水稲80ha、野菜(ブロッコリー、たまねぎ等)2ha、おむすび屋
従業員10名、所有機械トラクター8台、田植え機3台、コンバイン3台、乾燥機8台



農政局

ほ場整備事業により、経営規模はどのように変わりましたか？

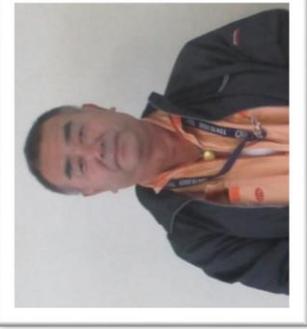
大区画化や用水路のパイプライン化により、農作業の労力が大幅に軽減しました。また、手刈りで行っていた草刈り作業が、機械化(トラクター)できるようになりました。
H8年は8ha程度でしたが、約80haまで経営面積を拡大しています。来年も3ha拡張予定です。
また、水稲期間中の作業の減もあり、その間に野菜の定植や稲刈り後の野菜の収穫などが可能になりました。

生産物の販売先はどうされていますか？

水稲は基本的にJAに卸しています。また、“越後菅谷殿様米”としてインターネット販売、輸出米も手がけています。グローバルGAPにも取り組んでいます。
野菜はJAに卸しています。今夏より、農協に卸せないB級品を、無人の直売所で販売することも行っています。枝豆を販売したら、非常に売れました。時期の野菜を販売していきたいです(10月13日(調査日)はブロッコリーを販売(写真(右))。)



無人の直売所



農政局

おむすび屋(6次産業化)経営のきっかけを教えてください。

おいしいおむすびを食べてもらい、米を購入してほしいというものでした。おむすびの単価は1個220円。コロナ前は500万円/年の売り上げがあったが、現在は100万円程度です。従業員10名のうちの女性1名で切り盛りし、今後も続けていきたいです。

以前は大豆や豆腐なども作っていたようですが・・・。

お米の安心・安全へのこだわりから世界基準の安全品質を保証する米作りを行いたいとの思いから、4年前にGGAPを取得する際に、アレルギーなどの観点から同一施設で“米”と“大豆”の乾燥・調整作業を行うのは不可能であったため、水稻を優先するために大豆栽培を諦めました。

減農薬、減化学肥料栽培の作物生産などの取組を行っていますか？

国による米の特別栽培農作物認証制度を取得し、減農薬・減肥料(5割減)に取り組んでいます。稲の補肥に「みらい有機」という100%有機質資材や鶏糞も使用しています。また、エノキダケのはい菌床を無料でもらえるため、これを使って土壌改良剤を作ることを検討しています。

法人経営、地域農業のPR(農作業体験など)されていますか？

中学2年生を対象に職業体験活動の一環として、ブロッコリーの箱詰めなどを行っています。

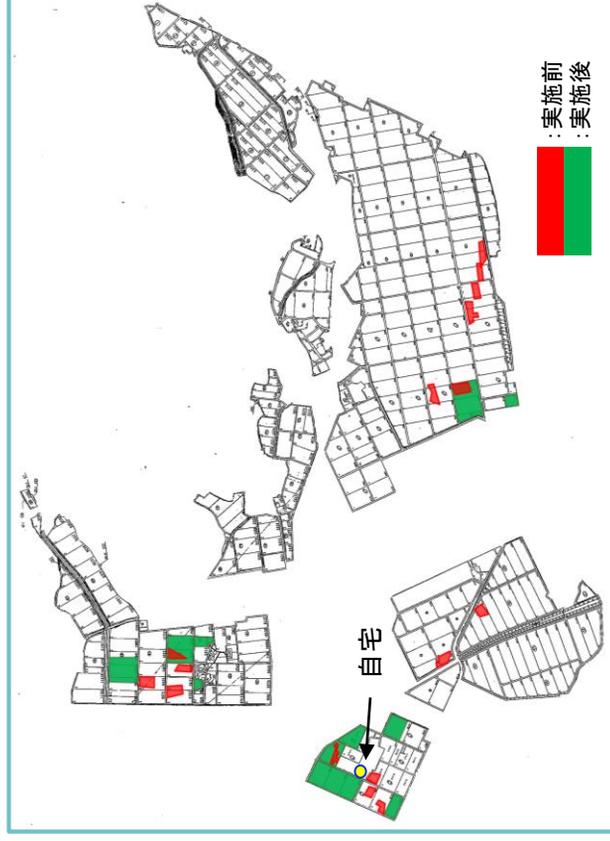
地区内生産法人2 ～農事組合法人 石山農産～

- ・経営内容... 水稲15ha、いちご0.4ha、畜産(肥育牛)
- ・作付面積の変化... 事業実施前 8ha → 事業実施後 15ha
- ・ポイント... 事業の実施により、農地を集約
余剰労働時間でいちご栽培面積を増加(冬季の仕事にも)
今後、面積を拡大予定(ハウス増設)
畜産による堆肥の地域への供給



石山さん

【事業実施前後】



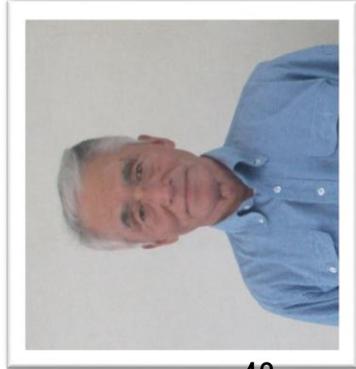
換地により8ha程度を自宅周辺に集約



自宅周辺にいちごハウスを整備

聞き取り調査内容

農事組合法人 石山農産(石山さん)
水稲15ha、いちご0.4ha、畜産(肥育:新発田牛)
従業員4名(代表は奥様、後継者息子2名)
長男はいちご、次男は肥育を担当。繁忙期はシルバード人材センターに依頼。



農政局

いちごの栽培を始めた経緯を教えてください。

水稲、畜産を中心に経営を行っていましたが、米価が今後どのようになるか分からなかったため、今後の経営について普及センターに相談をしました。
同ようなタイミングでは場整備事業により自宅前に農地の集積、集約ができ、水稲の作業労力が非常に軽減されました。
いちご栽培(越後姫)の春先の作業と水稲作業(田植え)が重なるのですが、水稲の作業が軽減されたこともあり、両立可能と判断し、H22年度からいちご栽培(養液栽培)を行っています。

いちごの販売方法や今後考えられていることなどを教えてください。

農協に卸しています。直接販売も行っています。
来年度ハウスの増設を考えています。



農政局

ほ場整備事業の効果を、作業の軽減以外でどのように感じていますか？

農作業が飛躍的に楽になりました。水稻の生育状況は年々均一になってきていますし、**暗渠排水整備の効果**がとても大きいです。**いちご栽培に必要な排水も暗渠排水により非常に良くなりましたし、地盤も安定しました。**

減農薬、減化学肥料栽培の作物生産などを行っていますか？

畜産も行っていることから堆肥散布を行っています。稲の生育は良いです。肥料は、自家産の有機質肥料を散布しています。地域の営農者の方々にも販売しています。

法人経営、地域農業のPR（農作業体験など）されていますか？

毎年、畜産の関係で小学生の施設見学を受け入れています。その際、いちご栽培についても説明しています。

聞き取り調査内容（加治郷土地改良区）

加治郷土地改良区（森課長（右）、伊藤係長（左））



農政局

施設管理者である土地改良区さんが感じる事業の効果をお教えして下さい。

以前は開水路形式だったため、上下流の用水調整が非常に大変でしたが、パイプライン化により揚水機場毎に必要な量を把握し、送水することができるようになりました。調整が大変楽になりました。ポンプ運転による電気代がかかりませんが、それ以上の効果を感じています。自動給水栓を設置しましたので、節水と省力化の効果もあります。また、パイプライン化により水路の江ざらいが不要になりました。ほ場整備事業を契機に草刈り重機を購入し、法面の草刈りは重機で行っています。

地域住民に水利施設や用水の役割、機能のPR活動などの取組は行っていますか？

多面的機能支払制度を活用し、非農家にも参加してもらい用水路脇に植栽を行っています。地区に隣接した小学校田をもつ七葉小学校の児童や、非農家対象の田植えや稲刈りなどの農作業体験を実施しています。